

環境基本計画検討委員会ワークショップ 会議結果報告

日 時	平成 24 年 5 月 15 日（火） 13：30～15：30
場 所	野洲文化ホール 小ホール
出席者	検討委員会委員 10 名、審議会委員 2 名、事務局 4 名

1. ワークショップ

<事務局説明>

- 目的：自治会や企業などと連携した取り組みを進めていくために、各主体に対してどんな働きかけが必要となるのか。具体的な方策を検討する。
- 手法：A4用紙に、中間見直しで盛り込んでいきたい内容を書き出し、共有する。

<意見交換>

• 学校

【課題】

- ・ 市民活動サイドのマンパワーが課題
- ・ 各学校での環境教育の現状が把握できていない。
- ・ 教員も忙しく、新たな取り組みは困難であるため、教員の負担を軽減できるようなプログラムづくりが必要
- ・ 各学校と個別に連携する方法では限界がある。教育委員会と環境教育のプログラムや年間スケジュールを協議する場が必要

【連携の具体案】

- ・ 地域の市民が講師となる。（授業への組み込み、学校への出前講座）
- ・ 企業がCSRとして講師となれるような橋渡しを行なう。
- ・ 副読本（3・4年生社会科）に、関連する市内の環境活動を掲載する。
- ・ 教育委員会やPTAと交流、協議できる場をつくる。
- ・ 市民活動を支援する組織（役割）をつくり、情報収集や発信を行う。（マスコミ含む）
- ・ 県の調査報告などを活用し、市内の環境教育の現状をまとめる。

• 企業

【課題】

- ・ 企業での環境活動は行っているが、市民に知られていない。
- ・ 企業側も地域と交流したいが、参加が得られない。

【連携の具体案】

- ・ 市内企業の環境活動をまとめたパンフレットを発行するなど、企業の社会貢献活動を応援する。
- ・ 企業と地域・市民活動が交流できる場をつくる。

- 自治会

- 【課題】

- ・ 自治会に、環境行政との連携窓口となる担当役員がない。
 - ・ 自治会内でも人を集めるのに苦労しており、「環境」というだけでは人が集まらない。
 - ・ 啓発だけでなく、自治会で実践活動をしてもらうことが必要
 - ・ 各コミュニティーセンターが実施している地域子ども教室では、指導者の確保に苦慮している。

- 【連携の具体案】

- ・ 行政から環境委員を依頼するなど、環境への取り組みを自治会の役割として位置づける。
 - ・ 自治会の環境活動を表彰するなど、取り組みを応援する。
 - ・ 環境月間・週間に自治会が独自で取り組めるようにする。
 - ・ スポーツやレクリエーションとして、環境活動を展開できるメニューの提案
 - ・ こちらの活動を知ってもらう研修会や自治会同士で情報交換するなど意見交流や協議の場をつくる。
 - ・ 地域子ども教室などに、環境学習のプログラムメニュー（講師含む）を提案する。
 - ・ 野洲の自然をもっと知る体験ツアーを行う。

- 市民団体

- 【課題】

- ・ 環境活動をしている市民団体が多数あるが、把握しきれていない。

- 全体・行政

- 【課題】

- ・ 環境分野は広いため、環境課だけでは集約できていない。
 - ・ 環境分野だけでも行政の委員会が多すぎる。
 - ・ 市議会との連携も必要

- 【連携の具体案】

- ・ 環境政策や緑化など、独立した担当を設置する。
 - ・ 各プロジェクトとの連携担当を行政や自治会に設ける。
 - ・ 各主体が同じ目標に向かっていくための、基礎的なデータを把握する。
 - ・ 環境の標語を募集する。

- 次回以降の連絡

- 検討委員会

- 5月28日（月） 10時～ 野洲市役所 本館3階 第1委員会室

- 6月20日（水） 10時～ コミュニティーセンターやす

- 市民懇談会

- 7月29日（日） 14時～ コミュニティーセンターなかさと